

## 会議等経過報告書

1 件名	令和3年度第1回大船渡市立図書館協議会
2 日時	令和3年7月14日（水）午後1時30分～午後3時30分
3 場所	大船渡市民文化会館（1階展示ギャラリー）
4 出席者	委員：上関みさ会長、佐々木一義副会長、今野美彌子委員、藤村敏夫委員、 白木澤京子委員 図書館：新沼部長、熊谷館長、汐谷館長補佐、菅野係長、中井司書、黒森司書補

### 会議等の内容（要旨）

#### 1 開会（進行：汐谷館長補佐）

委員出席状況の確認。鈴木博委員の欠席を報告した。

#### 2 会長挨拶（上関会長）

#### 3 部長あいさつ（新沼館長）及び職員紹介（熊谷館長）

#### 4 議事

##### 報告第1号 令和2年度図書館事業の実施状況及び利用状況（菅野係長説明）

#### ■（佐々木一義副会長）

(8)の児童の校外学習について、説明がありましたが、本校でも昨年度も本年度も2年生が利用させていただきました。本当に子どもたちが目を輝かせて本を見て、興味を引くような展示の仕方にも感激していたようです。そうしたところから、子どもたちが少しずつ図書館に足を運ぶことが増えればと思います。今後もこういう校外学習を継続していただきたいと思いました。

#### （上関会長）

子どもたちが、図書カードを作って貸出しできるという体験は、とてもいいことですね。

#### ■（上関会長）

4ページの学校図書館との連携ですが、「学校側からの要望を踏まえた配架に留意する必要がある。」ということですが、具体的には、どういう点を今後留意した方がいいということなのでしょうか。

#### （菅野係長）

学校の授業で使うような図書を想定しており、例えば、国語であれば、参考の資料が教科書に記載されているので、その本を入れていくとか、生活科やその他の教材についても、教科書から本への誘導が最近増えているので、そういった教材を確認しながら、図書館の蔵書も考えていきたいというところで記載させていただいております。

#### （上関会長）

このことは、学校側で望んでいることなのでしょうか。

#### （菅野係長）

なかなか、そこまでは踏み込んではいないのですが、今後の様子を見ながらと考えておりました。

#### （上関会長）

昨年度も、市民のニーズということが話題になりましたので、学校ではどういうことを望んでいるのか、また、図書館ではこういう理由でこういう本を配架しているということをお互いに出し合っていけばいいのではと思います。

■（白木澤委員）

視聴覚資料というのは、どういうものなのですか。

（菅野係長）

簡単に言うと、DVDとなりますが、昨年度は、新たにCDも購入し、貸出用として準部を進めているところですが、したがって、CDとDVDを視聴覚資料としております。

（白木澤委員）

児童向けとか、その他いろいろとありますか。

（菅野係長）

アニメ、文学作品、世界遺産のほか道徳系の教材などいろいろありますが、少し奥まった所に置いているので、中々活用が進んでいないというところがあります。

（白木澤委員）

せっかく、新しいものを毎年買っているようなので、例えば、この企画展にあうようなDVDと一緒に展示してもいいと思います。せっかく、数もたくさんあると私も思ったので、もっと皆さんに観ていただければと思います。

（上関会長）

視聴覚資料については、皆さんに分かりやすい場所に配置するなど、工夫して活用を図っていただきたいということですね。

■（今野委員）

中高生の皆さんが、館内で学習している状況を拝見しますが、利用数というのは減っているものですか。夏休みや冬休みとか、利用数の違いはあるのでしょうか。また、進学のための学習利用とかいろいろあると思いますが、現在はどの程度の利用なのでしょうか。

（菅野係長）

数字的には抑えていないので、感覚的な話になりますが、まず多いのが、長期休業期間で、夏、冬、春休みとも、変わらずに利用しており、テスト前やテスト期間もよく利用しているような感じです。

ただし、コロナの関係で、席数を減らしているもので、単純に減少していると思いますが、割と4～5人のグループで学習利用するような形は増えているような気がします。

■（今野委員）

椅子に長い時間座っていると、お尻が痛くなりますが、何か配慮はありませんか。自分で何か持ってきてもいいのでしょうか。

（菅野係長）

図書館では、座布団を用意し、カウンターで貸出しているので、その辺は周知を進めたいと思います。

■（上関会長）

ブックスタート事業は、子ども128名、大人137名、計265名の利用とありますが、それぞれの生まれた月の対象者の何パーセント位の方が利用しているのでしょうか。

（中井司書）

7～8か月児検診の対象者が、ブックスタート事業の対象者となりますので、8割位の方が参加し対応しています。その日に都合の悪い方には、あとで保健師から資料をお渡しております。

一昨年までは、二月分の子どもたちを対象に隔月で行っていましたが、昨年より、コロナウイルスの感染予防対策のため、少人数により毎月行っており、本年度もそのようにしております。

（上関会長）

それぞれの事業につきましても、コロナがなければ、もっと人数的には増加するのかなと思います。

#### ■（白木澤委員）

今年の参加者数を事業毎にも出していただいているが、去年との比較についても資料に載せていただければ、これまでの変化が見えるのではないのでしょうか。それを毎年続けていって、大船渡市の変化を市民にも目に見えるような形でやっていただければと思います。

また、数字よりグラフや図の方が目には見えるので、資料の表し方などの工夫をしていただければと思います。

市民の皆さんにも分かってもらえるような、ホームページの出し方をしていただければと思います。

#### （上関会長）

資料づくりも大変だとは思いますが、周知化ということでよろしくお願ひしたいと思っています。

#### ■（藤村委員）

この企画展は、開催等が結構大変で、いつもすごいと思っており、もっと市民の皆さんの目に着くように発信していけば、より来ていただけるのではないかと思います。

それから、これからの対応は、コロナ対策が重要だと思います。対人関係ではなく、個別に個々に対策していくこと、この資料の貸出冊数一人当たりの増加状況を見ると、対策としては効果的だったと思います。休館したにも関わらず、この位の利用があるということは、やはり工夫があったと思うので、それらを検証しさらに深めて、今年度も来年度もやっていけば、非常にいい取り組みになるのではと感心しております。

#### ■（佐々木一義副会長）

私も、企画図書展が本当に工夫されていると思いました。特に、夜の図書館お話し会やおたのしみ親子劇場とかの子供向けの事業を工夫されていて、ぜひ、今後も検討していただきたいと思いました。

ただし、たくさん子どもたちが、せっかくの機会を利用できていないので、子どもだけの参加はむずかしいと思うので、保護者向けへのPRの仕方について工夫しながら参加者が増やし、また、そういう機会を子どもたちに与えていきたいと感じました。

#### ■（上関会長）

本当に企画展は、アイデアと工夫がいっぱいだなと思っております。東海新報でも、開催等について載せてもらえば、もっといいと思いました。

#### （中井司書）

東海新報への情報提供は、行事毎に小まめに行っており、かなり協力いただいております。参加者募集の際にも掲載いただき、開催結果や内容等についても詳しく取材していただいております。今後もその点を含めてPRに努めていきたいと思っております。

#### （菅野係長）

今年から、東海新報さんでは、以前の図書館担当の方が、気仙館内4館の紹介等について月2回の特集を始めて、かなり取り上げていただいております。今後、気仙館内の連携もでてくると期待しているところです。

#### ■（白木澤委員）

9ページの蔵書点検ですが、不明図書の発見というお話があり、ICタグ化により不明図書を減らすことも目的のひとつと聞いていましたが、不明図書が見つかったというお話があり、それを資料として載せることはできないのでしょうか。

#### （菅野係長）

可能ですが、今は蔵書点検が終わったばかりの速報数値なので、今回は、出していないところです。

#### （白木澤委員）

それが、年度毎に資料に載せていければ、ICタグ化により、不明図書を防げる実証となり、それも目に見える形ということになると思います。

**(菅野係長)**

資料への掲載については、どういう形で載せるのは、検討したいと思います。

■ **(藤村委員)**

蔵書点検に合わせての除籍の作業は、日程的に見込みどおりでしたか。数的にはどうでした。

**(菅野係長)**

感覚的には、これ位というような結果と感じてます。日数的にも、以前は10日間とか要してましたが、今回は7日間で組んでおりましたが、もう少し余裕あると今回は認識しており、全行程としても7日間で十分だと感じております。

**(藤村委員)**

本の除籍ですが、学校には、図鑑や事典とか10年を超えていますが、学校では除籍ができないので、何十年も残っており、新しいものとの入れ替えが必要ですが、そこは図書館が担っていただければ、調べ学習とかに非常に役立ちます。

学校では、一旦買うと捨てられないので、10年で除籍するとなくなってしまうので、うまく更新していただくようお願いします。

■ **(上関会長)**

かもしか号を更新したのは、大変良かったと思います。貸出し人数もかなり増えてますよね。

**(菅野係長)**

昨年のかもしか号については、コロナにより休館したので、その影響もあります。もちろん、新しくなった「かもしか号」を見たいという興味とかが子どもたちにあり、その効果はあったと感じています。

**(上関会長)**

私は日頃市に住んでいますが、移動図書館が来る日は、近所の高齢者の方たちも結構楽しみにしており、皆さんにとって良かったと思っています。

■ **(上関会長)**

それでは、これまで区切って進めてきましたが、どの部分でも結構ですので発言していただければと思います。

(なしの声あり)

それでは、たくさんのご意見等ありがとうございました。いろいろ意見をもらいましたが、事務局では、ただ今の意見等をもらい、今後においても図書館事業を進めていただければと思います。

**協議第1号 令和3年度図書館資料購入計画(案)について(菅野係長説明)**

■ **(藤村委員)**

分類区分ですが、絵本の分類は、児童か、文学か、または美術にいれる場合もありますが、図書館ではどこに入れているんですか。

**(中井司書)**

子どもの絵本については、すべて「Jの児童」に振り分けています。それから、図書館では、700番代に絵本を置いているものもありますが、それは、大人を対象とした絵本であり、芸術や美術の棚に置いておりますが、それ以外の本は子ども向けに置いております。

**(藤村委員)**

よくわかりました。本当に、子どもたち向けの部分の多さが、大船渡は子どもに手厚くしていると思いますので、もっと、広報や東海新報に掲載していただき、呼び込むような感じを持ってもらえればいいと思います。すごく助かります。

■（上関会長）

購入等の予算は、昨年度と同じなんです。

（菅野係長）

はい、そうです。

■（白木澤委員）

児童図書が、すごく充実していると思いますが、この資料をみると、令和3年度に850冊購入するということですか。

（菅野係長）

850冊を購入する予定です。

（白木澤委員）

児童図が充実していますが、置く場所はすごく詰め込み過ぎな気がします。そこに、新たに850冊入ったときには、その児童書を借りる時には、結局、バラバラに本棚に埋まってしまうよね。

（菅野係長）

現在、配架している場所を替えながら、古い本を抜いて新しい本を入れる等について検討しているところです。特にも、500番代の図書は、「お話し室」の目立たないところにあるものもあり、子どもたちもあまり目がいらず、借りる冊数が少ないので、目のつきやすい場所に文庫を児童書の方に動かして見やすくし、いろいろな分野に子どもたちの目がいくような配架を考えています。

（白木澤委員）

リアスホールの構造なので、空白部になるのは仕方ないと思いますが、例えば、目立たないところを本棚するのではなく、そこに、昆虫のようなマークを目立たせて添付するなど子どもたちの目が絵にいくようにするか、2段目か3段目くらいにしかいかない子どもの視線で絵本を置くとか、見るのは結局、大人が探して与えるようになるので、もう少し工夫をお願いしたいと思います。

（上関会長）

子ども向けの新刊図書がカウンターの真向かいあたりにあって、それも結構変わっており、一生懸命に工夫していると私は見えました。

■（藤村委員）

貸出の割合というのは、ICタグ化により、書庫と分類ごとの貸出しは分かりますが、配架場所がどこにあるかによって、貸出の頻繁さというようなことも分かるようにはなるんですよね。

（菅野係長）

データを解析しなければならないのですが、手段はあります。先ほど、子ども向け図書の500番代が借りられていないということも、前に試したことがあります。

最近、よく試していることは、小学校の校外学習の時に、子どもたちが何に興味を持つのかというのを探し、少しずつリサーチしながら進めていました。

（白木澤委員）

大船渡市民の図書館で借りる本の傾向について、どうか探っていただきたいと思います。

■（上関会長）

どのように利用するかということが大事であり、今のようなご意見が出ていますが、購入計画については、皆さん、よろしいでしょうか。

（委員）

はい。

**(上関会長)**

それでは、いいを前提にしてという意見が多いので、どうぞ、購入計画をよろしく願いいたします。お仕事を増やすような意見がたくさんありましたが、どうぞ、私たちの気持ちも汲んでいただき、今後も図書館事業の参考にしていただきたいと思います。

それでは、すべての協議の方は終了しましたので、事務局のお返しいたします。

委員の皆さまには、大変ご協力いただきありがとうございました。

**(汐谷館長補佐)**

皆さん、活発なご意見ありがとうございました。今後の図書館運営に活かさせていただきます。ありがとうございました。

**5 その他**

**(1) 大船渡市立図書館指定管理者制度の導入に関する基本方針(概要)について  
(熊谷館長説明、新沼部長補足説明)**

■ **(上関会長)**

「1番の指定管理者制度の導入に向けて」の「(1)図書館の求められる役割」、ここをきちんと書いていただいて、良かったと思っております。

現在もいろいろやっけていただいておりますが、私は、図書館が貸出サービスや蔵書管理に留まるものではなく、やっぱり、図書館は、その地域やその市の大船渡なら大船渡の文化の発信地だと思います。

そして、図書館の大きな役割というのは、情報センターとしての役割があると思いますので、多数の情報を発信し、いろいろな事業をする中で、市民の文化を与える場所でありたいと考えておりますので、この「図書館の求められる役割」にきちんと書いてあるとおりに、やっていけたら素晴らしいと思います。

**(佐々木一義副会長)**

私も、充実した図書館運営になればいいなというふうにお聞きしながら、考えてました。

■ **(藤村委員)**

指定管理者制度について、市で思っている部分というのは、行財政関係の部分が一番だと思います。だけど、それは、市民からすれば違うということであり、一番は、サービスの充実であり、そこをはき違えてはいけないと思いますので、今の係長さんや司書さんのようなやる気のある方々が事業を継続し、さらに充実していくために制度を導入するということを発信していった方がいいと思います。

県内をみると、高田とか久慈とかも制度を導入したということで、今年度や昨年度から行っている指定管理がどうなっているかという聞き取り等も含めて、我々が、導入した時にどうなるかということ想定するというのも必要だと思いますので、どうぞよろしく願います。

■ **(白木澤委員)**

2ページの資料の「市立図書館の運営状況」をみると、大船渡市は、司書の数が一番少ないような感じですが、どこを目指しているのでしょうか。

**(熊谷館長)**

この表の一番下の「計16館」の司書割合が45パーセントになっていますので、できれば、これを上回りたいと思っています。

**(白木澤委員)**

そうすると、職員数に対して、半数位は司書を置きたいということですね。指定管理者制度を導入すると、図書館のサービスが良くなるという感じに思っているわけですね。

**(熊谷館長)**

はい、そうですね。

### (白木澤委員)

何回かの会議の中において、指定管理者制度の話が出た時、市がいいと思っているサービスと市民のニーズが本当にあっているのか、というところが大事なのではないかと皆さんおっしゃっていたので、それをどういうふうな形で市民のニーズを図るか、そのためのICタグで分析というものをしていき、どういうニーズがあるか、蔵書関係でどうかとか、例えば、月例の冊数や年代別の冊数などを分析していき、大船渡は、このような図書館の利用状況であるということ踏まえての民間委託を進めるといような感じになっていけばいいのと思いましたし。

あとは、このレファレンスサービスや情報サービスの提供を上げるように聞こえますが、そもそもレファレンスサービスは、図書館を利用するより、スマホとかパソコンとかで調べている方が多いと思うので、スマホと図書館との調べ方の違いについては、私たちもよく分からないので、そういうところを丁寧に市民の方に説明していかないと、図書文化の向上には繋がっていかないのでと思います。

ただし、この指定管理者制度を導入することで、逆に図書館が良くなっていくという意識を市民の方にイメージとして与えることについては、すごくいいと思っています。

あとは、制度を導入した後に、どういう変化になっていくかを探って見ていかないと、図書館は収入がないので、ある程度の金額をかけてこの位かということにはしたくないと思いますので、余計、厳しい図書運営というようになるかもしれないと思いますが、よろしくお願いします。

### ■ (上関会長)

司書さんがたくさんいると、やはり、図書館運営にとってはいいと思います。そして、今年からお二人になりましたが、本当に今の司書さんもお二人になっても大変だろうと思っており、司書が増えることについては大賛成です。

今まで、市では、ずっと司書はお一人だったので、司書が増えるとなれば、委託する事業者にそれまでの資金力があるものを求めるのか、それとも市の方でお金を出すのか、その辺はどうでしょうか。

### (熊谷館長)

経費的には、現状の維持であればまあまあだと思います。お金をかけないでサービスを向上させる形でいいと思い、指定管理により経費を節減しながらサービスを向上させようとしているのです。

そういうノウハウのある業者が全国的にあり、その人たちであれば、司書の資格やいろいろな資格を持った方を沢山抱えており、そういう企業であれば、もしいなくも、自分たちで養成し、来年から増えるかもしれないし、再来年には、2人から4人になるかもしれないというところに期待をしております。

### ■ (白木澤委員)

その委託料の中に、司書さん5人分の給料とかも入っているような考え方なんでしょうか。

### (熊谷館長)

そのとおりです。委託料の中に人件費は入っております。

### ■ (藤村委員)

おそらく、給食の外部委託と同じように、人件費はすべて業者の方なので、私が言えなかったのは、ここで雇っている人たちを優遇しなければという部分はすごくあります。

民間に委託しますが、給食で使っている臨時職員や働いていた人たちについては、引き続きお願いしますということをやっつけていかなければと思いますので、その辺りも何とかよろしくお願いします。

### (上関会長)

なかなか言えないことですが、そこをやっつけていかなければ、市民として、きちんとしたご説明をいただきたいと思います。

### (熊谷館長)

業者の方で募集する際には、仕様書を作成しますが、今使っている人を引き続き雇用するようなことは多分うたえないと思いますのけれども、市とすれば同じ思いがありますので、応募される業者から提案していただく形は可能と考えております。

## ■（白木澤委員）

私たちには、これに関していろいろなスケジュールがありますが、どこかで何かをみせていただける機会はあるのでしょうか。

## （藤村委員）

おそらく、市の方でプレゼンがあって、そこで決めてしまうと思います。

## （熊谷館長）

こういう業者が候補者になりましたということだと思いますが、今年度の後半の協議会において、現在の状況等経過報告はしたいとは思っています。

## （白木澤委員）

それでは、やってみないと分からないということですね。

## （新沼部長）

状況報告は適切にさせていただきます。業者選定は、当然、公募した上で、きちっとしたルールにより決めさせていただきますので、それについてのご意見をいただくということはまずないというふうにお考えをいただきたいと思えます。

あとは、この基本方針を読めば感じていただけたと思いますが、まず、市民サービスの向上を最初に出しております。行財政経費の節減については、あまり触れてはおりません。こういったご時世であり、乖離が当然ありますし、経費を切り詰めたことによってサービスが低下したのでは元も子もないということをあえて書いており、重々ご理解いただきたいと思えます。

あと、市民ニーズとの観点につきましては、今年度から、市の方で指定管理者等に対して、利用に関するアンケートを必ず実施するようという項目を定め、自己を厳しく設定をしています。

まず、市民文化会館の方から、本年度、アンケートを実施しニーズを探っていきます。

実は、市ではいろいろな施設を持っていますが、利用者の声を聴くというのは、こういった審議会とか、いろいろな場面で聞いたりするということは当然ですが、広く一般利用者の声を聴くというのは、実は、あまり多くないということもあります。

お金を一定程度かけるわけですから、そのミスマッチがあっては元も子もなく、無駄な経費になりますので、ニーズの把握には、従前にも増して意を配していきたいというふうに思っております。

いずれ、この指定管理者制度を導入するに当たっては、導入後においてもその観点は忘れずにいきたいと思っております。

## ■（熊谷館長）

指定管理者制度を導入しても、この図書館協議会というのは継続しますので、何かあった折には、指定管理したらこういうことが良くないとかいろいろと意見を出してもらえれば、それを指定管理者に伝えて、市がコントロールできるような仕組みですので、今後とも、よろしく願いいたします。

## ■（上関会長）

今まで、私たちも、かなり好き勝手なことを言って参りまして、満足しました。よろしく願いいたします。

## （汐谷館長補佐）

それでは、指定管理制度の導入については、皆さまからいただいたいろいろなご意見を参考にしながら、また、今後とも、市民ニーズを大事にして進めていただきたいということでございますので、今後とも、皆さんよろしく願いしたいと思います。

## (2) その他

## ■（上関会長）

リアスホールでは、様々なコンサートを開催して本当にいいと思っておりますが、コンサートなどがある時は、入り口は一か所だけなのでしょうか。例えば、警察署脇の方からも入れるのでしょうか。

**(熊谷館長)**

入ってくる方もおります。階段を上がって、ロビーで受け付けしているのです。下は空いています。

**(上関会長)**

消毒液があることは、先ほど来るときに、確認してまいりましたが、やはり、コロナが怖いから体温を確認するのは、こちらの方にはないですね。皆さんがきちんと、手先を消毒して、体温を測ればよいと思いますので、その辺のご検討をいただきたいと思います。

**(熊谷館長)**

なかなかむずかしいです。本当は、サーモカメラがある正面玄関だけに限定したのですがけれども、なかなかそうもいかなくて、今後、検討させていただきます。

■ **(上関会長)**

さまざま言って申し訳ございませんが、私は、サークルに入っており、週に1回は使わせていただいています。最近、夜の警備の方が変わった挨拶いただくが、どうなのでしょう。

**(熊谷館長)**

その辺は、委託業者から確認してみます。

## 6 閉 会 (午後3時30分)